



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



2022年4月21日

農林中央金庫

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

プライベート・エクイティ分野における ESG のレポート標準化に向けた取り組みについて
～ESG データ・コンバージェンス・プロジェクト^(※1)への参加～

農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登）および農林中金全共連アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長：牛窪克彦）は、主要な運用会社と投資家が主導する、プライベート・エクイティ分野の ESG レポート標準化を目指す ESG データ・コンバージェンス・プロジェクト^(※1)（以下、「本プロジェクト」）に参加いたしました。

本プロジェクトは、プライベート・エクイティ分野において、運用会社がそれぞれ独自の手法で取り組んでいる ESG のレポートに対して、100 社超の投資家や運用会社が協働し、レポート項目等の標準化、質的向上を図り、ESG への取り組み状況を明確にするものです。

農林中央金庫は、サステナブルファイナンスの実行、温室効果ガス（GHG）排出量削減にかかる 2030 年に向けた中長期目標を掲げております。プライベート・エクイティの分野では、長年に渡り様々な分野へ投資を進め知見を蓄積し、ESG の分野においても、インパクト投資プログラムを開始し、インパクト・プライベート・エクイティ・ファンド^(※2)への投資を進めております。今回、本プロジェクトに投資家として積極的に取り組むことにより、ESG 投資、ひいては、インパクト投資の拡充を促進し、農林中央金庫および農林中金全共連アセットマネジメント株式会社は、上記中長期目標の実現、ひいては持続可能な地球環境への貢献を目指してまいります。

(※1) ESG データ・コンバージェンス・プロジェクトは、2021 年に開始された The Carlyle Group Inc.をはじめとする運用会社や、California Public Employees' Retirement System をはじめとする投資家が ESG のレポート標準化に向けて協働するプロジェクト。レポート項目の統一のほか、定期的なレポート項目の見直し、運用会社や投資家へ参加の促進によって、業界全体の効率化や変革を図るもの。

(※2) 経済的なりターン、および環境・社会インパクトの創出を同時に目指すプライベート・エクイティ・ファンドの総称です。

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 企画管理部広報財務 IR 班（宮澤・水元）：TEL 03-6362-7172

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社 企画部 TEL:03-5210-8500